

# 旭川市版

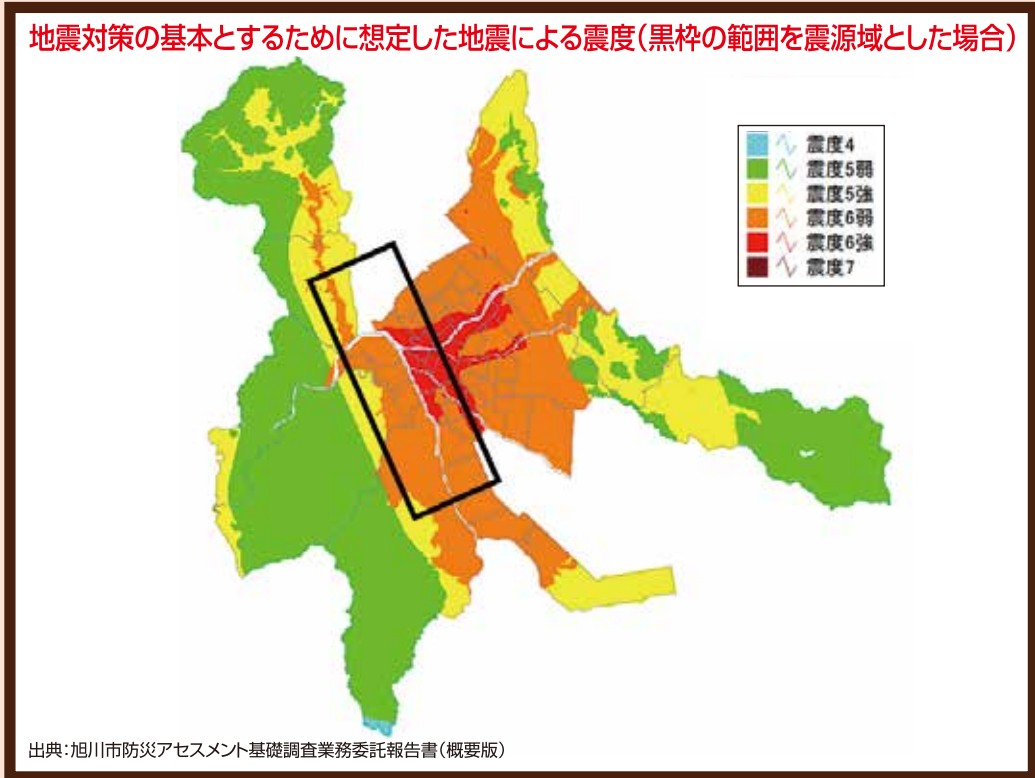
# いつ起きるか分からない 地震災害に**しっかり**備えるために

# 地震保険

大地震は日本全国どこでも起きる可能性があります。旭川市内でも、大地震によって市街地の大部分で震度6弱以上の激しい揺れが起こり、広い範囲で建物被害が発生すると予想されています。



地震対策の基本とするために想定した地震による震度(黒枠の範囲を震源域とした場合)



出典:旭川市防災アセスメント基礎調査業務委託報告書(概要版)

全国にはまだ発見されていない活断層が多くあり、大地震は日本全国どこでも起こり得ます。これまで揺れが少ない地域であっても安全とは言えません。

## 地震後の暮らしには お金がかかる…

生活再建に  
必要な資金例



家の建て直し・修繕



家財の買い替え



仮住まいの費用

## 地震災害への備え チェックリスト!



冬季の  
備えも万全  
ですか?

- 家具の固定
- 非常持出し品の準備
- 家族の安否確認方法の共有
- 避難場所・経路の確認
- 備蓄品の用意
- 地震保険への加入**

地震に対する経済的な備えとなるのが「**地震保険**」  
被災後の生活再建をスムーズにするために  
地震保険への加入を検討しましょう。

## 一般社団法人 日本損害保険協会 北海道支部

あいおいニッセイ同和損保   AIG損保   共栄火災   セコム損保   ソニー損保  
損保ジャパン   東京海上日動   日新火災   三井住友海上   (2022年9月現在)

地震保険に  
ついては  
裏面で解説!



# 地震保険は、地震・噴火・津波で被災した際、生活を立て直す助けになります。

地震保険は、1966年に制定された「地震保険に関する法律」に基づく、被災者の生活の安定に寄与することを目的とした保険です。



もし災害が起こって被災しても、公的支援制度があるのでは？

「被災者生活再建支援制度」による支援金は最大で300万円と限界があります。仮に全壊被害に遭った住宅にローンが残っていたとしたら、住めなくなった住宅のローンを返済しながら、新しい住宅の建築費用を工面しなければなりません。いざというときにスムーズに生活を再建するには、地震保険に加入するなど自ら備えることが大切です。



## 地震保険のポイント

### 地震等による火災は、火災保険の対象外

地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする火災や倒壊などの損害は、火災保険では補償されません。地震等による損害に備えるには地震保険への加入が必要です。

※地震保険は、火災保険とセットで加入する必要があります。

### 地震保険の対象は「建物」と「家財」

地震保険の対象は建物と家財です。建物の地震保険では、生活再建の費用として足りないこともありますので、それぞれに加入しておくのが安心です。

### 地震保険の保険料

お住まいの地域(都道府県)や建物の構造によって決まります。

建物の免震・耐震性能に応じた割引制度があります。

※どの保険会社で加入しても同一です。

地震保険についてより詳しく知りたい方は地震保険広報特設サイト (<https://www.jishin-hoken.jp/>) をご覧ください。

また、地震保険の加入に関するご相談は、お近くの損害保険代理店・損害保険会社までお問い合わせください。

地震保険は住宅ローンの負担軽減にも役立つ！

地震保険広報特設サイト



保険料と保険金を試算してみよう

加入方法は？